

PAL

連合会だより「パル」

PALひろば
“共済”南北

今回は 東京

明治神宮
(東京都渋谷区)



今号の
主要項目

- 令和6年度連合会決算の概要
- 令和7年度長期給付に係る経理の予算収支状況(速報)
- 令和6年度情報交換及び特別徴収の実施状況について

CONTENTS

主要項目 1	令和6年度 連合会決算の概要 [総務部総務課]	P.03
-----------	------------------------------	------

主要項目 2	令和7年度 長期給付に係る 経理の予算収支状況(速報) [総務部企画課]	P.12
-----------	--	------

主要項目 3	令和6年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について [年金業務部]	P.14
-----------	--	------

年金制度等の日誌	年金制度等に関連した法律等の改正状況／ 公的年金制度に関連した会議等の開催状況	P.16
業務等の状況	会議開催状況/会議開催予定	P.16
人事異動		P.17

■ 宿泊施設の紹介		
ホテルグランドアーク半蔵門	[警察共済組合本部]	P.18
■ PALひろば“共済”南北 203		
東京おすすめ観光スポット	[警察共済組合本部]	P.19

令和6年度 連合会決算の概要

[総務部総務課]

はじめに

地方公務員共済組合連合会の令和6年度の決算（「厚生年金保険給付調整経理」、「退職等年金給付調整経理」、「経過的長期給付調整経理」、「厚生年金拠出金経理」、「基礎年金拠出金経理」、「厚生年金保険預託経理」、「退職等年金預託経理」、「経過的長期預託経理」、「介護保険経理」、「国民健康保険経理」、「後期高齢者医療経理」、「個人住民税経理」及び「業務経理」）について、その概要を説明します。

なお、この決算は、令和7年6月20日（金）に開催された第149回運営審議会の議を経て、承認されました。

厚生年金保険給付調整経理

令和6年度末の厚生年金保険給付調整積立金は、14兆5,733億1,139万7千円となりました。

① 収入について

・収入総額1兆6,264億98万5千円（令和5年度 1兆4,983億7,207万4千円）

厚生年金保険給付調整経理における収入は、国家公務員共済組合連合会より拠出を受ける「財政調整拠出金受入金」、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」であり、内訳は表1及び図1のとおりです。

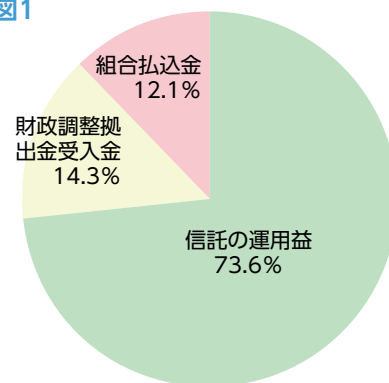
表1

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B)－(A)
財政調整拠出金受入金	237,063,268	231,915,845	△ 5,147,423
組合払込金	31,206,686	197,412,532	166,205,846
信託の運用益	230,302,920	1,197,072,608	966,769,688
合 計	498,572,874	1,626,400,985	1,127,828,111

※金額はそれぞれ千円未満を四捨五入しているため、計及び合計の額は一致しないことがある(以下同じ。)

図1



※割合はそれぞれ小数点以下第2位で四捨五入しており、「0.0」は集計した数値が表章単位に満たないものである(以下同じ。)

② 支出について

・支出総額1,727億5,281万2千円（令和5年度 1,611億4,927万4千円）

支出としては、年金特別会計に対して拠出する「厚生年金拠出金負担金」、組合へ交付する「組合交付金」、「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表2のとおりです。

表2

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金負担金	170,704,579	164,709,487	5,995,092
組合交付金	9,607,000	5,313,000	4,294,000
信託の運用損	-	656,101	△656,101
業務経理へ繰入	2,074,224	2,074,224	-
合 計	182,385,803	172,752,812	9,632,991

③ 当期利益金について

収入総額1兆6,264億98万5千円から支出総額1,727億5,281万2千円を差引いた「当期利益金」は1兆4,536億4,817万3千円となり、この全額を「厚生年金保険給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「厚生年金保険給付調整積立金」の額は、14兆5,733億1,139万7千円となりました。

④ 資産の構成について

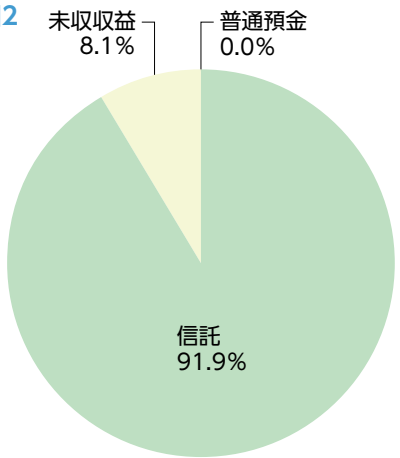
令和6年度末における資産の構成内容は、表3及び図2のとおりです。

表3

(単位:千円、%)

区 分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)-(A)
流動資産	普通預金	1.0%	5,796	0.0%	△132,281,309
	未収収益	1.8%	1,186,122,036	8.1%	955,819,116
	計	2.8%	1,186,127,831	8.1%	823,537,807
固定資産	信託	97.2%	13,387,183,566	91.9%	672,906,262
	計	97.2%	13,387,183,566	91.9%	672,906,262
合 計	13,076,867,328	100.0%	14,573,311,397	100.0%	1,496,444,069

図2



⑤ 運用利回りについて

厚生年金保険給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和6年度における運用利回りは、8.69%となりました。

退職等年金給付調整経理

令和6年度末の退職等年金給付調整積立金は、1,591億37万3千円となりました。

① 収入について

・収入総額422億2,712万7千円（令和5年度 145億5,591万8千円）

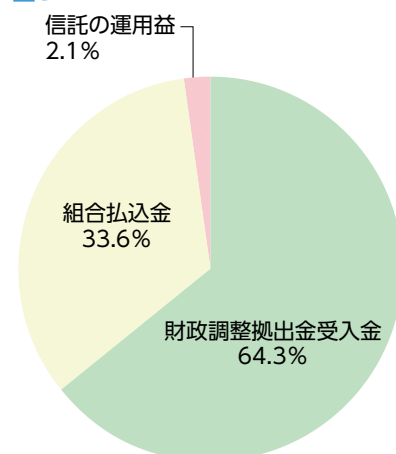
退職等年金給付調整経理における収入は、国家公務員共済組合連合会より拠出を受ける「財政調整拠出金受入金」、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」であり、内訳は表4及び図3のとおりです。

表4

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減(B)－(A)
財政調整拠出金受入金	27,165,641	27,165,641	-
組合払込金	14,068,513	14,192,835	124,322
信託の運用益	743,262	868,651	125,389
合 計	41,977,416	42,227,127	249,711

図3



② 支出について

・支出総額4億3,724万円（令和5年度 5億572万4千円）

支出としては、「業務経理へ繰入」であり、内訳は表5のとおりです。

表5

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減(A)－(B)
業務経理へ繰入	633,180	437,240	195,940
合 計	633,180	437,240	195,940

③ 当期利益金について

収入総額422億2,712万7千円から支出総額4億3,724万円を差引いた「当期利益金」は417億8,988万7千円となり、この全額を「退職等年金給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「退職等年金給付調整積立金」の額は、1,591億37万3千円となりました。

④ 資産の構成について

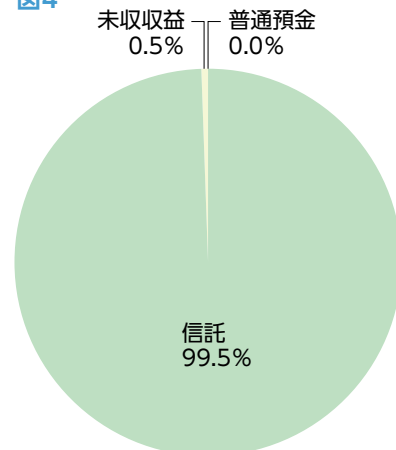
令和6年度末における資産の構成内容は、表6及び図4のとおりです。

表6

(単位:千円、%)

区 分		事業計画額 (A)	割合	決算額 (B)	割合	比較増減(B)－(A)
流動資産	普通預金	702,630	0.4%	712	0.0%	△701,918
	未収収益	743,262	0.5%	868,651	0.5%	125,389
	計	1,445,891	0.9%	869,362	0.5%	△576,529
固定資産	信託	157,208,253	99.1%	158,231,011	99.5%	1,022,758
	計	157,208,253	99.1%	158,231,011	99.5%	1,022,758
合 計		158,654,144	100.0%	159,100,373	100.0%	446,229

図4



⑤ 運用利回りについて

退職等年金給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和6年度における運用利回りは、0.63%となりました。

経過的長期給付調整経理

令和6年度末の経過的長期給付調整積立金は、14兆3,449億8,813万3千円となりました。

① 収入について

・収入総額1兆2,719億1,487万4千円（令和5年度 1兆2,236億5,170万1千円）

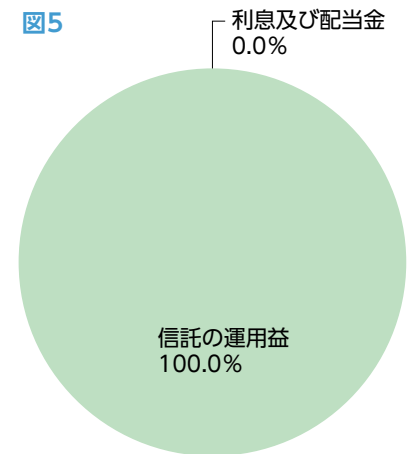
経過的長期給付調整経理における収入は、資金の運用による「信託の運用益」などであり、内訳は表7及び図5のとおりです。

表7

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
利息及び配当金	278,296	590,921	312,625
信託の運用益	228,723,461	1,271,323,954	1,042,600,493
合 計	229,001,757	1,271,914,874	1,042,913,117

図5



② 支出について

・支出総額2,231億4,069万3千円（令和5年度 2,174億1,759万9千円）

支出としては、国家公務員共済組合連合会への「拠出金」、組合へ交付する「組合交付金」、
「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表8のとおりです。

表8

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
拠出金	167,813,573	162,666,150	5,147,423
組合交付金	62,299,000	59,606,000	2,693,000
信託の運用損	-	662,018	△662,018
業務経理へ繰入	206,524	206,524	-
合 計	230,319,097	223,140,693	7,178,404

③ 当期利益金について

収入総額1兆2,719億1,487万4千円から支出総額2,231億4,069万3千円を差引いた「当期利益金」は1兆487億7,418万2千円となり、この全額を「経過的長期給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「経過的長期給付調整積立金」の額は、14兆3,449億8,813万3千円となりました。

④ 資産の構成について

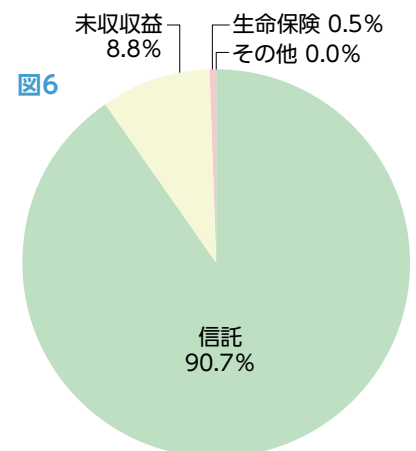
令和6年度末における資産の構成内容は、表9及び図6のとおりです。

表9

(単位:千円、%)

	区 分	事業計画額 (A)	割合	決算額 (B)	割合	比較増減 (B)－(A)
流動資産	普通預金	4,817,845	0.0%	1,047	0.0%	△ 4,816,798
	未収収益	228,347,684	1.8%	1,260,331,116	8.8%	1,031,983,432
	計	233,165,529	1.8%	1,260,332,163	8.8%	1,027,166,634
固定資産	信託	12,591,549,180	97.7%	13,014,772,022	90.7%	423,222,842
	投資有価証券	264,453	0.0%	267,030	0.0%	2,577
	生命保険	69,301,669	0.5%	69,616,918	0.5%	315,249
	計	12,661,115,302	98.2%	13,084,655,970	91.2%	423,540,668
合 計		12,894,280,831	100.0%	14,344,988,133	100.0%	1,450,707,302

図6



⑤ 運用利回りについて

経過的長期給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和6年度における運用利回りは、9.23%となりました。

厚生年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額6兆7,980億6,181万6千円

(令和5年度 6兆4,354億3,905万7千円)

厚生年金拠出金経理における収入は、各組合及び当連合会が負担する「厚生年金拠出金負担金」並びに年金特別会計から交付される「厚生年金交付金」であり、内訳は表10のとおりです。

表10

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
厚生年金拠出金負担金	3,222,500,261	3,197,556,527	△24,943,734
厚生年金交付金	3,606,385,497	3,600,505,289	△5,880,208
合 計	6,828,885,758	6,798,061,816	△30,823,942

② 支出について

・支出総額6兆7,980億6,181万6千円

(令和5年度 6兆4,354億3,905万7千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「厚生年金拠出金」及び各組合へ交付する「厚生年金交付金支払金」であり、内訳は表11のとおりです。

表11

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金	3,222,500,261	3,197,556,527	24,943,734
厚生年金交付金支払金	3,606,385,497	3,600,505,289	5,880,208
合 計	6,828,885,758	6,798,061,816	30,823,942

基礎年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額1兆3,772億6,570万8千円

(令和5年度 1兆3,962億5,646万8千円)

基礎年金拠出金経理における収入は、各組合が負担する「基礎年金拠出金負担金」及び年金特別会計から交付される「基礎年金交付金」であり、内訳は表12のとおりです。

表12

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
基礎年金拠出金負担金	1,583,075,736	1,347,301,527	△235,774,209
基礎年金交付金	30,021,634	29,964,182	△57,452
合 計	1,613,097,370	1,377,265,708	△235,831,662

② 支出について

・支出総額1兆3,772億6,570万8千円

(令和5年度 1兆3,962億5,646万8千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「基礎年金拠出金」及び各組合へ交付する「基礎年金交付金支払金」であり、内訳は表13のとおりです。

表13

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
基礎年金拠出金	1,583,075,736	1,347,301,527	235,774,209
基礎年金交付金支払金	30,021,634	29,964,182	57,452
合 計	1,613,097,370	1,377,265,708	235,831,662

厚生年金保険預託経理

① 収入について

・収入総額56億6,221万1千円

(令和5年度 64億6,313万3千円)

厚生年金保険預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表14のとおりです。

表14

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	1,717,050	5,662,211	3,945,161
合 計	1,717,050	5,662,211	3,945,161

② 支出について

・支出総額56億6,221万1千円

(令和5年度 64億6,313万3千円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表15のとおりです。

表15

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	1,717,050	5,035,737	△3,318,687
収益調整金償却	-	626,473	△626,473
合 計	1,717,050	5,662,211	△3,945,161

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和6年度の運用利回りは、6.46%となりました。

経過的長期預託経理

① 収入について

・収入総額60億2,075万6千円

(令和5年度 71億2,678万5千円)

経過的長期預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表16のとおりです。

表16

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	1,988,725	6,020,756	4,032,031
合 計	1,988,725	6,020,756	4,032,031

② 支出について

・支出総額60億2,075万6千円

(令和5年度 71億2,678万5千円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表17のとおりです。

表17

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	1,988,725	5,436,359	△3,447,634
収益調整金償却	-	584,397	△584,397
合 計	1,988,725	6,020,756	△4,032,031

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和6年度の運用利回りは、6.47%となりました。

退職等年金預託経理

① 収入について

・収入総額0円

(令和5年度 0円)

地方公務員等共済組合法施行規程(以下「施行規程」という。)第12条の3の規定により組合から預託される預託金は見込まれないことから、予算を計上しておらず、実際に預託されなかったため、決算額は0円となりました。

② 支出について

・支出総額0円

(令和5年度 0円)

施行規程第12条の3の規定により組合から預託される預託金は見込まれないことから、予算を計上しておらず、実際に預託されなかったため、決算額は0円となりました。

介護保険経理

① 収入について

・収入総額30億1,317万7千円

(令和5年度 35億9,182万円)

介護保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「介護保険料納入金」であり、表18のとおりです。

表18

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
介護保険料 納入金	3,187,464	3,013,177	△174,287
合 計	3,187,464	3,013,177	△174,287

② 支出について

・支出総額30億1,317万7千円

(令和5年度 35億9,182万円)

支出としては、市区町村へ納入する「介護保険料」であり、表19のとおりです。

表19

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
介護保険料	3,187,464	3,013,177	174,287
合 計	3,187,464	3,013,177	174,287

国民健康保険経理

① 収入について

・収入総額4,043万3千円

(令和5年度 4,156万9千円)

国民健康保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「国民健康保険料及び国民健康保険税の納入金」であり、表20のとおりです。

表20

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
国民健康保険料 (税)納入金	36,685	40,433	3,748
合 計	36,685	40,433	3,748

② 支出について

・支出総額4,043万3千円

(令和5年度 4,156万9千円)

支出としては、市区町村へ納入する「国民健康保険料及び国民健康保険税」であり、表21のとおりです。

表21

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
国民健康 保険料(税)	36,685	40,433	△3,748
合 計	36,685	40,433	△3,748

後期高齢者医療経理

① 収入について

・収入総額35億2,037万8千円

(令和5年度 42億8,653万3千円)

後期高齢者医療経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「後期高齢者医療保険料納入金」であり、表22のとおりです。

表22

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)－(A)
後期高齢者医療保険料納入金	3,564,641	3,520,378	△44,263
合 計	3,564,641	3,520,378	△44,263

② 支出について

・支出総額35億2,037万8千円

(令和5年度 42億8,653万3千円)

支出としては、市区町村へ納入する「後期高齢者医療保険料」であり、表23のとおりです。

表23

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)－(B)
後期高齢者医療保険料	3,564,641	3,520,378	44,263
合 計	3,564,641	3,520,378	44,263

個人住民税経理

① 収入について

・収入総額10億7,470万7千円

(令和5年度 15億5,221万9千円)

個人住民税経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「個人住民税納入金」であり、表24のとおりです。

表24

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)－(A)
個人住民税納入金	1,228,300	1,074,707	△153,593
合 計	1,228,300	1,074,707	△153,593

② 支出について

・支出総額10億7,470万7千円

(令和5年度 15億5,221万9千円)

支出としては、市区町村へ納入する「個人住民税」であり、表25のとおりです。

表25

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)－(B)
個人住民税	1,228,300	1,074,707	153,593
合 計	1,228,300	1,074,707	153,593

業務経理

① 収入について

・収入総額60億3,386万2千円

(令和5年度 61億1,534万2千円)

業務経理における収入としては、組合員1人当たり1,120円の「組合分担金」及び「厚生年金保険給付調整経理より繰入」などであり、内訳は表26のとおりです。

表26

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
組合分担金	3,352,282	3,315,872	△36,410
雑収入	-	2	2
厚生年金保険給付調整経理より繰入	2,074,224	2,074,224	-
退職等年金給付調整経理より繰入	633,180	437,240	△ 195,940
経過的長期給付調整経理より繰入	206,524	206,524	-
合 計	6,266,210	6,033,862	△ 232,348

② 支出について

・支出総額63億7,813万円

(令和5年度 52億9,741万4千円)

(1)本年度中に行った主な会議は、次のとおりです。

- ア 役員会 3回
- イ 運営審議会 3回

(2)本年度中に行った監査は、次のとおりです。

- ア 監事会議 1回
- イ 決算監査 1回
- ウ 中間監査 1回
- エ 例月監査 11回
- オ 定期監査(監査員監査) 1回
- カ 臨時監査(出納主任異動) 1回

(3)本年度中に行った主な事業は、次のとおりです。

- ア 基礎年金支払代行に係るシステムの維持管理及び事務
- イ 標準システムの維持管理
- ウ 情報共有化システムの運営及び維持管理
- エ 年金払い退職給付関連システムの維持管理
- オ 社会保障・税番号制度に係るシステムの運営及び維持管理
- カ 各種情報交換及び特別徴収に係る事務
- キ 年金事務担当者研修会
- ク 資金運用全国説明会
- ケ 年金積立金の管理・運用
- コ 広報誌「連合会だより PAL」(6回)の発行
- サ 退職等年金給付に係る基準利率、終身年金現価率及び有期年金現価率の算定
- シ 退職等年金給付に係る財政検証
- ス 経過的長期給付に係る財政の現況及び見直しの作成

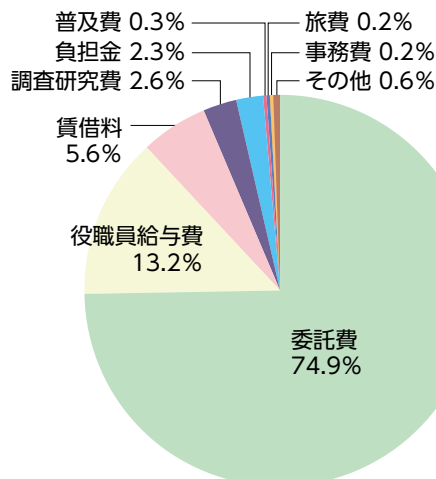
(4)これらの会議及び事業に要した経費は、総額63億7,813万円となっており、主な科目別内訳は表27及び図7のとおりです。

表27

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
役員報酬	74,130	73,889	241
職員給与	750,276	770,025	△19,749
旅費	20,504	15,891	4,613
事務費	17,409	13,702	3,707
委託費	6,030,662	4,778,680	1,251,982
賃借料	382,754	360,075	22,679
調査研究費	191,212	165,571	25,641
普及費	46,281	20,047	26,234
負担金	142,805	144,086	△1,281
減価償却費	12,410	12,410	-
その他	24,463	23,661	802
前期損益修正損	-	94	△ 94
合 計	7,692,906	6,378,130	1,314,776

図7



③ 当期損失金及び剰余金の繰越しについて

収入総額60億3,386万2千円から支出総額63億7,813万円を差引いた「当期損失金」は3億4,426万8千円となり、翌事業年度へ繰り越される剰余金は21億4,475万1千円となりました。

令和7年度 長期給付に係る 経理の予算収支状況(速報)

[総務部企画課]

はじめに

令和7年度の地方公務員共済組合全体における厚生年金保険経理等(※)、退職等年金経理等(※)及び経過的長期経理等(※)に係る予算の収益総額、費用総額及び収支差は以下のとおりです。

(金額単位：百万円)

経理名	収益総額	費用総額	収支差
厚生年金保険経理等	8,899,516	8,576,979	322,537
退職等年金経理等	361,389	19,155	342,234
経過的長期経理等	622,306	777,793	▲ 155,487

※集計は、各共済組合及び市町村連合会の厚生年金保険経理、退職等年金経理及び経過的長期経理と地方公務員共済組合連合会の前記各経理に相当する経理(厚生年金保険給付調整経理、退職等年金給付調整経理及び経過的長期給付調整経理)、厚生年金拠出金経理及び基礎年金拠出金経理を対象としました。

なお、主な各収支項目の割合は下図1～6のとおりです。(金額単位:百万円)

図1 厚生年金保険経理等の収益の主な項目割合

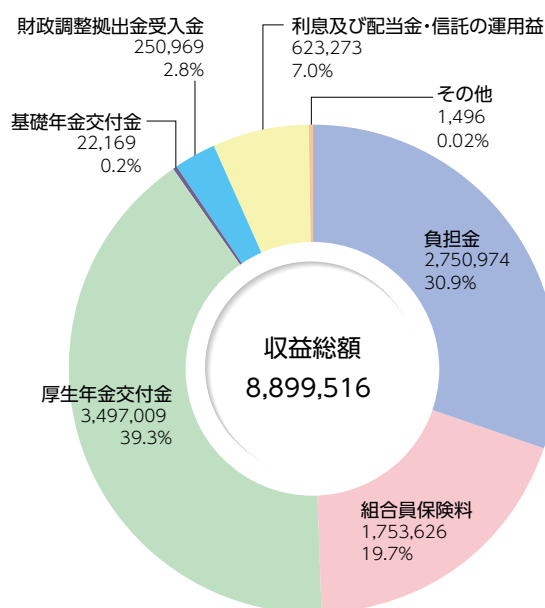


図2 厚生年金保険経理等の費用の主な項目割合

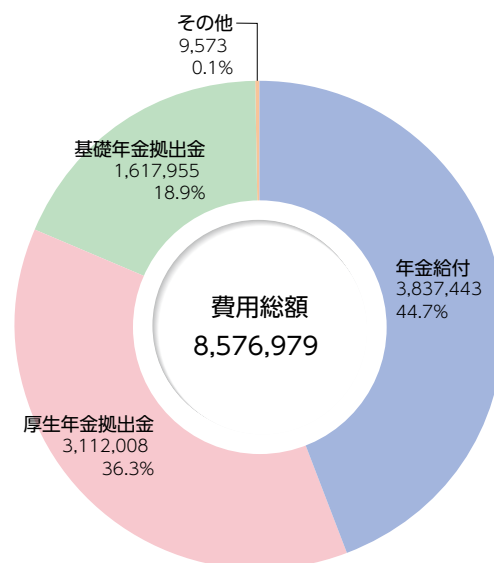


図3 退職等年金経理等の収益の主な項目割合

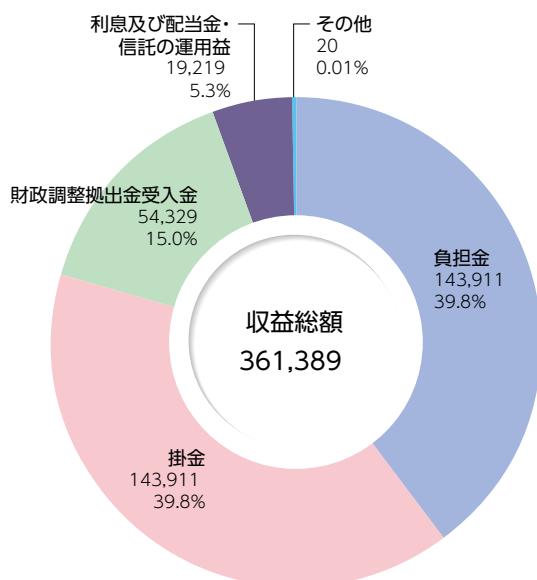


図4 退職等年金経理等の費用の主な項目割合

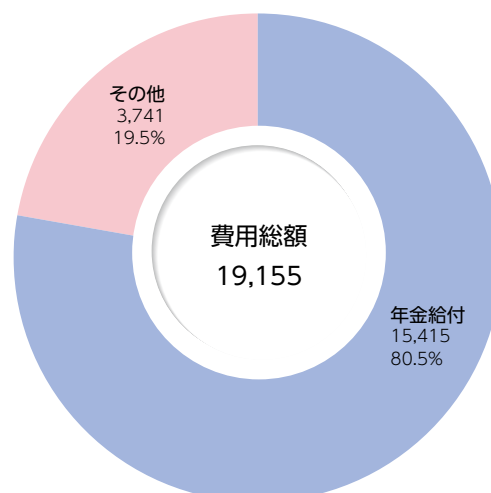


図5 経過的長期経理等の収益の主な項目割合

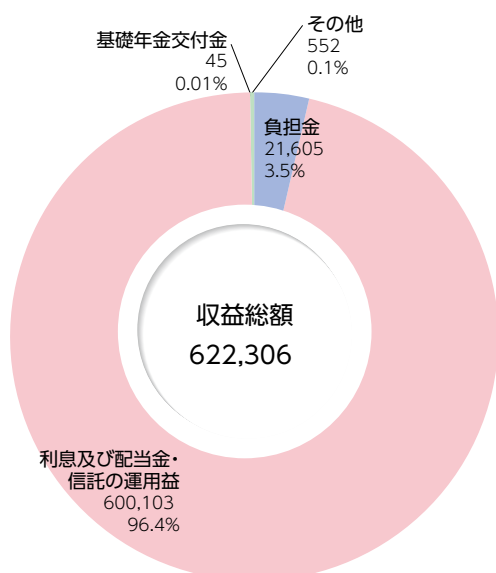
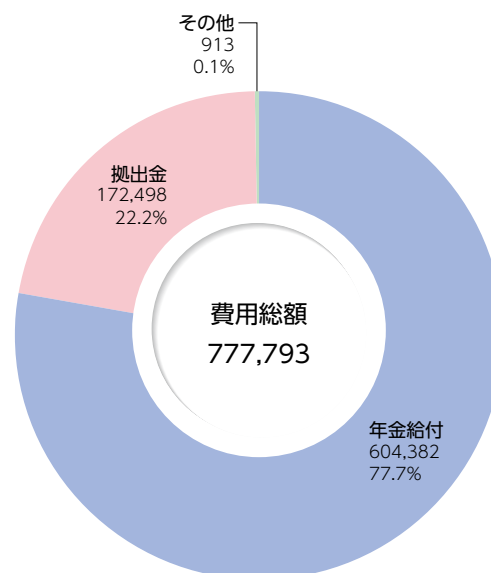


図6 経過的長期経理等の費用の主な項目割合



【備考】

- 1 地方公務員共済組合全体で見た場合に、二重計上となる項目（地方公務員共済組合連合会の「基礎年金拠出金」と各共済組合及び市町村連合会の「基礎年金拠出金負担金」等）については、一方のみを集計しました。「組合交付金（連合会交付金）」及び「組合払込金（連合会払込金）」については、集計していません。
- 2 収益の「その他」内訳（予算書における科目）
「退職一時金等返還金」、「移管金」、「前期損益修正益」、「償還差益」、「雑収入」
- 3 費用の「その他」内訳（予算書における科目）
「負担金」、「雑費」、「業務経理へ繰入」、「前期損益修正損」、「償還差損」
- 4 端数処理の関係で、内訳の合計と合計数が一致しないところがあります。

令和6年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について

[年金業務部]

情報交換事務に関する業務

1 基礎年金の年金請求等に関する情報交換

(1) 年金請求等に関する業務

共済組合と日本年金機構との間の窓口として、単一者等に係る基礎年金の年金請求書や各種情報交換文書の送付及び調整事務等を行っています。年金請求書等の送付件数は次のとおりです。

(単位:件)

区 分		令和6年度
年金請求書の送付件数	老齢基礎年金	20,000
	障害基礎年金	1,952
	遺族基礎年金	159
	合 計	22,111
年金受給選択申出書の送付件数		806
現況届の送付件数	老齢基礎年金	136
	障害基礎年金	3,725
	遺族基礎年金	747
	合 計	4,608

※「単一者等」とは、老齢基礎年金及び遺族基礎年金については、年金制度に加入した期間が地方公務員共済組合(国家公務員共済組合を含む。)の期間だけの者及びこれに準ずる者のことであり、障害基礎年金については、地方公務員共済組合の組合員期間のうちに初診日がある者のことである。

(2) 支払代行に関する業務

単一者等に係る基礎年金の支払代行に関する共済組合と日本年金機構との間の経由業務として、日本年金機構からの基礎年金支払情報の授受、当該情報の共済組合への提供に係る事務等を行っています。基礎年金の支払代行の件数及び金額は次のとおりです。

(単位:千件/千円)

区 分		令和6年度	
		件数	金額
基礎年金支払代行	老齢基礎年金	2,366	212,857,336
	障害基礎年金	185	28,031,663
	遺族基礎年金	5	1,061,191
	合 計	2,556	241,950,189

(注)合計は、端数処理の関係で内訳と一致しないことがある。

2 厚生年金の決定、改定等に関する情報交換

厚生年金の決定、改定等にあたっては、共済組合、日本年金機構、国家公務員共済組合連合会及び日本私立学校振興・共済事業団(以下「実施機関」という。)との間で、それぞれが管理する年金記録等の情報交換が必要な場合があります。この情報交換は、主にファイル転送等により行われています。

当連合会は、当該情報交換に関する情報連携システム及び情報交換システムを運営し、実施機関間の経由事務を行っています。

特別徴収事務等に関する業務

1 特別徴収事務の内容

介護保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び地方税法の規定に基づき、各保険・医療制度の保険者である各市区町村(以下「市町村」という。)と特別徴収義務者である共済組合との間の介護保険料、国民健康保険料(税)、後期高齢者医療保険料及び個人住民税(以下「保険料(税)」という。)の年金からの特別徴収に関する情報交換及び保険料(税)の納入等の経由事務を行っています。

(1) 年次処理[年1回]

ア 特別徴収対象者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収対象者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収対象者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収対象者情報を通知しています。

イ 特別徴収依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(2) 月次捕捉処理[2か月毎]

ア 特別徴収追加候補者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収追加候補者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収追加候補者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収追加候補者情報を通知しています。

イ 特別徴収追加依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収追加依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(3) 月次処理[毎月]

各種異動情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて毎月20日までに提出があった死亡・転出等の各種異動情報を該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(4) 定期処理[2か月毎]

ア 徴収結果情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)の徴収結果情報を、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに経由機関を通じて該当市町村に通知しています。

イ 徴収保険料(税)の納入

(共済組合→連合会→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)を収納し、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに該当市町村が指定する金融機関口座に納入しています。

各徴収月に特別徴収した保険料(税)の実績

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和6年度 徴収月	介護保険			国民健康保険		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	529	52,811	1,605	7	1,078	551
6月	518	51,472	1,605	7	1,095	558
8月	520	49,998	1,606	7	1,096	556
10月	503	46,426	1,593	7	952	491
12月	481	44,905	1,591	6	925	485
2月	461	43,209	1,588	6	904	477
計	3,012	延べ 288,821	—	40	延べ 6,050	—

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和6年度 徴収月	後期高齢者医療保険			個人住民税		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	561	43,844	1,576	220	16,952	1,416
6月	538	42,417	1,574	210	16,294	1,406
8月	520	41,151	1,571	191	14,590	1,392
10月	666	39,117	1,560	92	13,524	1,367
12月	633	37,637	1,557	181	14,590	1,389
2月	603	36,083	1,552	180	14,362	1,391
計	3,521	延べ 240,249	—	1,074	延べ 90,312	—

(注) 徴収金額の計欄は、端数処理の関係で各徴収月の金額の合計と一致しないことがある。

年金制度等の日誌

■ 年金制度等に関連した法律等の改正状況

年月日	事項
R7.5.30	地方公務員等共済組合法施行規程の一部を改正する命令(内閣府・総務省・文部科学省令第3号)
R7.6.20	社会経済の変化を踏まえた年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する等の法律(法律第74号)
R7.6.20	社会経済の変化を踏まえた年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する等の法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令(政令第223号)

■ 公的年金制度に関連した会議等の開催状況

年月日	事項
R7.6.30	社会保障審議会年金部会(第25回)

業務等の状況

■ 会議開催状況

6月19日 第147回 役員会	場所 地方公務員共済組合連合会特別会議室 内容 令和6年度決算(案)について、事務局から説明を行い、 6月20日の第149回運営審議会に提出する旨決定されました。
6月20日 第149回 運営審議会	場所 地方公務員共済組合連合会特別会議室 内容 令和6年度決算(案)について、事務局から説明を行い、審議の結果、 承認されました。

■ 会議開催予定

9月29日 年金事務担当者 研修会	○開催方式 WEB研修会 ○内容(予定) 講演 「地方公務員共済制度の最近の動向について」 総務省自治行政局公務員部福利課 1 ①令和7年10月から令和8年9月までの基準利率等について ②組合員等現況調査等に係るデータ提出にあたっての留意事項について 2 年金事務機械処理標準システム 離婚改定に係る情報交換入力手順書について
9月5日・12日・19日・26日 地方公務員共済の 長期給付に係る 資金運用等に関する 全国説明会	○開催日程及び開催場所 9月5日(金)岩手県盛岡市 サンセール盛岡 9月12日(金)岡山県岡山市 ピュアリティまきび 9月19日(金)長崎県長崎市 ホテルセントヒル長崎 9月26日(金)愛知県名古屋市 ホテルルブラ王山 ※上記日程終了後、録画配信も予定しております。 ○講演内容(予定) 1 資産運用の仕組みと状況 2 スチュワードシップ活動の取組みについて 3 ESG投資について 4 オルタナティブ資産への投資状況 5 退職等年金給付(年金払い退職給付)について



宿泊施設の 紹介

警察共済組合本部

運営 帝国ホテルグループ

ホテルグランドアーク半蔵門

東京の真ん中・皇居の隣に位置する都会のオアシス。ビジネスや観光の拠点としてのご宿泊はもちろん、レストランのご利用、会議・ご宴席、ご婚礼まで、幅広くご利用いただけます。
帝国ホテルグループの運営によるあたたかいサービスと美味しいお料理で皆さまをおもてなしいたします。



外観



デラックスツイン



デラックス和室



ラウンジ ラメール



レストラン パティオ



宴会場



チャペル

ご予約・お問合せ

警察共済組合宿泊保養施設
ホテルグランドアーク半蔵門

〒102-0092 東京都千代田区幸町1-1

☎ 03-3288-0111 (代表) □ www.grandarc.com

公式Instagram

宿泊・レストラン
情報はこちら



婚礼の情報は
こちら



交通のご案内

- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」6番出口より徒歩約3分
6番出口は地上までエスカレーターとエレベーターが通じています
- 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩約7分
- 東京メトロ半蔵門線・有楽町線・南北線
「永田町駅」3番出口より徒歩約10分
- 「四ツ谷駅」より徒歩約15分
- 「東京駅」よりタクシーにて約10分
(丸の内南口タクシー乗り場)

※写真はイメージです。

東京おすすめ観光スポット

皇居のお堀のほとりにたたずむ「ホテルグランドアーク半蔵門」は、皇居はもちろん最高裁判所や国会議事堂など、都心ならではの観光スポットが周辺にたくさんあります。ホテルからアクセスの良い東京おすすめ観光スポットをご紹介します！



明治神宮

明治神宮は、明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社で、1920年に創建されました。全国から集められた献木で造られた森は、今では自然豊かな癒しの空間となっています。歴史と自然を感じながら参拝できる人気のスポットです。



上野動物園

1882年開園の日本最古の動物園として知られ、人気のジャイアントパンダをはじめとする約300種の動物たちに出会える人気スポット。緑に囲まれた園内は、のんびりと散策するにもぴったり。子どもから大人まで楽しめる、上野の定番観光地です。



東京国立近代美術館

皇居の近くにある、日本の近代～現代美術を幅広く楽しめる国立美術館。名画をゆっくり鑑賞できる静かな空間で、観光の合間にアートと触れ合うひとときを。北の丸公園にも隣接し、自然と文化を同時に満喫できます。



国立科学博物館

1877年に創立された日本で最も歴史のある博物館の一つ。恐竜や宇宙、自然など幅広いテーマの展示が充実しており、子どもから大人まで楽しめます。期間限定の特別展も開催され、訪れるたびに新しい発見があります。



東京ミッドタウン日比谷

日比谷公園の目の前にある、緑と都会が調和した人気の複合施設。話題のレストランや洗練されたショップがそろい、映画館も併設。お買い物やランチ、カフェタイムなど、自由に楽しめる大人のための街中スポットです。



豊洲 千客万来

豊洲市場に隣接する、グルメと温泉が楽しめる話題の複合施設です。全国各地の新鮮な食材を味わえる市場や、東京湾を望む展望足湯など、観光やお買物の合間にゆったりとお過ごしいただけます。



Pension Fund Association for Local Government Officials

<https://www.chikyoren.or.jp/>

地方職員共済組合 <https://www.chikyosai.or.jp/>
公立学校共済組合 <https://www.kouritu.or.jp/>
警察共済組合 <https://www.keikyo.jp/>
東京都職員共済組合 <https://www.kyosai.metro.tokyo.jp/>
全国市町村職員共済組合連合会 <https://ssl.shichousonren.or.jp/>
指定都市職員共済組合／市町村職員共済組合／都市職員共済組合

連合会だより・第245号
令和7年7月発行
編集・発行 地方公務員共済組合連合会 総務部 企画課
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1
TEL 03(6807)3677(代)

表紙の写真:明治神宮(東京都渋谷区)

明治神宮は、明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社として、1920年に創建されました。
全国から寄せられた献木により造られた人工の森は、100年を超えて豊かな自然林へと育ち、今では東京の中心に広がる静寂の空間となっています。
表参道や原宿駅からほど近くにありながら、一歩足を踏み入ると厳かな雰囲気に入れ、国内外から多くの参拝者や観光客が訪れています。
歴史と自然が調和したこの社は、四季折々の美しさとともに、都心とは思えない静けさを体感できる特別な場所です。

